2020 年 1 月 10 日

報道関係各位

武蔵野美術大学

武蔵野美術大学共創スタジオとアートの融合

『M のたね』展　開催

武蔵野美術大学（東京都小平市／学長 長澤忠徳）は MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス店内の、共創スタジオにて本学教員・助手による初の作品展示、『M のたね』展を開催いたします。

2019 年 7 月、本学市ヶ谷キャンパス共創スタジオは、株式会社良品計画と協同し、新たな学びを通し社会に問い、進化し続ける『場』を目指して誕生しました。以来、学生や教員のみならず、地域の方々と共に産学連携という枠を超え交流や情報を発信の場として、また、暮らしに役立つ場として、日々多くの方々に親しんでいただいています。

この度、『M のたね』と題した初のムサビ教員・助手による作品展示会を開催します。彫刻、絵画、映像、インスタレーションなど過去の作品や、無印良品の活動や商品から今回の展示のために創作される作品や関連イベントを多数開催しますので、お気軽に足をお運びください。

【開催概要】

タイトル｜　M のたね
会　　期｜　2020 年 1 月 13 日（月・祝）―3 月 22 日（日）
時　　間｜　月～金　7:30-21:00、土日祝　10:00-20:00　※店舗休館の場合は、それに準じます。
会　　場｜　MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス　入場無料
主　　催｜　武蔵野美術大学
共　　催｜　MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス
企画協力｜　鈴木潤子（インディペンデント・キュレーター）

参加作家プロフィール作品例（五十音順）

伊藤誠　ITO Makoto
1955 年愛知県生まれ。1983 年武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース修了。
現在、武蔵野美術大学教授（彫刻学科）。

近年の主な展覧会：「知らない場所 II」（双ギャラリー／東京、2019）
「ヘテロトピア」都美セレクション グループ展 2019／松浦寿夫・吉川陽一郎／白井美穂・岡田和枝・伊藤誠（東京都美術館／東京、2019）安養市海外姉妹都市作品交流展 （安養市／韓国、2018）「引込線-2017」（ 旧所沢市立第 2 学校給食センター／埼玉、2017）

「2 × 5 あるいは PEKO」
2015
270×435 ㎝,ターポリン

小林孝亘　KOBAYASHI Takanobu
1960 年東京生まれ。1986 年愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業。
現在、武蔵野美術大学教授（油絵学科）。

近年の主な展覧会：「小林孝亘展」（西村画廊　東京、2018）、「アイチアートクロニクル 1919-2019」（ 愛知県立美術館　2019）、「絵を見ているとき、あなたは何を見ているの？」（栃木県立美術館 2019）「Takanobu Kobayashi - Balance」（100Tonson gallery, Bangkok 2019)、「ART SCRUM」（箱根彫刻の森美術館、神奈川 2019）

「Inverted Vessel」
oil on canvas 100.3 x 80.2 cm　2015
撮影: 渡邉郁弘 Ikuhiro Watanabe
©Takanobu Kobayashi,
Courtesy of Nishimura Gallery

小林耕平　KOHEI Kobayashi
1974 年東京都生まれ。1999 年愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業。
現在、武蔵野美術大学准教授（油絵学科）。

近年の主な展覧会：「あいちトリエンナーレ 2016 虹のキャラヴァンサライ」（2016）、「小林耕平×高橋耕平 切断してみる。―二人の耕平」（豊田市美術館、2017）、「UENOYES 寄席―「笑うしかない状況」について―」（お江戸上野広小路亭、2019）、個展「ゾ・ン・ビ・タ・ウ・ン」（ANOMALY、2019）、「東・海・道・中・膝・栗・毛」（東京国立近代美術館、2019）

《東・海・道・中・膝・栗・毛》2016
撮影：中川周

鈴木康広　Yasuhiro Suzuki
1979 年静岡県生まれ。
現在、武蔵野美術大学准教授（空間演出デザイン学科）。

近年の主な展覧会：鈴木康広展「近所の地球」（水戸芸術館／2014）、「第 1 回ロンドン・デザイン・ビエンナーレ 2016」日本代表（サマーセットハウス／2016）、「鈴木康広 始まりの庭」（箱根 彫刻の森美術館／2017）、第 4 回モスクワ・ビエンナーレ（2011）。

《表裏のコップ》2014

冨井大裕　TOMII Motohiro
1973 年新潟生まれ。1999 年武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース修了。
現在、武蔵野美術大学准教授（彫刻学科）。

近年の主な展覧会：「コンポジション ーモノが持つルールー」（ATELIER MUJI／東京、2018）、「水と土の芸術祭 2018」（新潟市／新潟）、「線を借りる」（void＋／東京、2018）、「引込線／放射線」（第 19 北斗ビル、旧市立所沢幼稚園／埼玉、2019）

「コンポジション ― モノが持つルール ―」展
（ATELIER MUJI/東京、2018 年）
撮影：尾原深水

椋本真理子　MUKUMOTO Mariko
1988 年神奈川県生まれ。2013 年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了。
現在、武蔵野美術大学助手（彫刻学科）。

近年の主な展覧会：2019 年『椋本真理子展』横浜市民ギャラリーあざみ野（神奈川）、2019 年『LUMINE meets ART AWARD 2018-2019』LUMINE 新宿（東京）、2018 年個展『in the park』switch point（東京）。

「ダム アンド リゾート」
（LUMINE meets ART AWARD 2018-2019、2019 年）

（キュレーターからのコメント）
本展タイトル「M のたね」の“M”は、武蔵野美術大学と MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス店の頭文字から来ています。このたねは、何のたねでどのように育つのか、まだ誰にもわからない未知の存在です。そして、そんなたねを育むのは、意識するしないに関わらず、この場に訪れる方々です。

1 つ目のたねは、6 名の武蔵野美術大学教員・助手でありアーティストによって撒かれます。彫刻、絵画、映像、インスタレーションなど過去の作品や、無印良品の活動や商品から創作される新しい作品は、会場内の様々な場所に存在します。訪れた皆さんによって成長していくでしょう。また、会期中はアーティストによるトークやワークショップを多数開催します。何が出るのか、それとも、何も出ないのか。美術という領域は、あなたや私という個人や、世界との関係を更新していきます。この不思議なたねを、一緒に育ててみませんか？

【関連イベント】
※イベント詳細やお申し込みは、本学 web サイト（https://www.musabi.ac.jp/）でご確認ください。

① <u>出品作家によるトークイベント「“M のたね”はこうして始まった」</u>
本展覧会出品作家によるトークイベントを行います。この展覧会が生まれたきっかけから、今回の展覧会コンセプト、出品作品について、そして今後の可能性も含めてトークを行います。
日　程｜2020 年 1 月 26 日（日）
会　場｜ MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス
講　師｜本展出品作家全員×鈴木潤子氏
定　員｜50 名
参加費｜無料

② <u>ワークショップ 「無印良品から、つくる」</u>
私たちの生活にすっかり慣れ親しんでいる無印良品。そのアイテムを、私たちは本当はどの様に見ているのでしょう？
このワークショップでは、MUJIcomの商品棚からアイテムをひとつ選び、そのアイテムを素材に作品を作ってもらいます。

「使う」とは別の角度ー「つくる」視点から眺めることで、無印良品のアイテムが持っている色々な顔を発見したいと思います。
註：このワークショップでは、2人の作家の異なるアプローチに従って1日で２点の作品を制作します。
日　程｜2020年2月24日（月）、3月7日（土）
会　場｜ MUJIcom武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス
講　師｜冨井大裕（出品作家）、 椋本真理子（出品作家）
定　員｜20名
参加費｜2,000円
＊参加費とは別に、素材となる商品の購入費（購入する商品の選択は任意）がかかります。

③ 作品装着体験「上を向いてあるこう」
無印良品のアイテムからできている伊藤誠の作品「5 boats」を実際に装着します。
日常では経験出来ない無印良品の身体感覚を体験する事ができます。
日　程｜2020 年 2 月 24 日（月）、3 月 7 日（土）
会　場｜ MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス
講　師｜伊藤誠（出品作家）
定　員｜20 名
参加費｜無料

④ ギャラリートーク
出品作家がそれぞれの作品について話しをします。
日　程｜ 2020 年 2 月 29 日（土）鈴木康広
2020 年 3 月 1 日（日）小林孝亘
2020 年 3 月 8 日（日）小林耕平
2020 年 3 月 22 日（日）伊藤誠
会　場｜ MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス
定　員｜20 名
参加費｜無料

※諸般の事情により開催中止または内容が変更になる場合は、本学 web サイトや SNS にてお知らせ致します。

［本件に関するお問い合わせ先］
武蔵野美術大学 大学企画グループ 広報チーム　 担当：西、沢田
Tel：042-342-6038　fax：042-342-6094　e-mail：koho@musabi.ac.jp